

# THE Y S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2017~2018年度 No.232

## 5月 月報

那須クラブ会長 主題  
地域につなげ那須ワイズ

強調月間：EF/JEF

那須ワイズメンズク



4月(植樹)例会 4月27日 於：那須街道 赤松美林

2018~2019年度 主題

国際会長：(IP) Moon Sang Bong (韓国)  
「私たちは変えられる」

アジア地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)  
「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事：(RD) 宮内 友弥(東京武蔵野多摩)  
「為せば、成る」

北東部長：涌澤 博(仙台青葉城)  
「チャンス到来 われら北東部から世界へ」

クラブ役員 事務局

会長：河野 順子

副会長：村田 榮也  
田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田・鈴木

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村・村田

### 3月例会データ (出席率：83.3%)

在籍者 6名  
例会出席者 5名 ネット 1名  
コメント 1名、ユースリーダー 1名  
YMCAスタッフ 1名

### 今月の聖句

身を慎んで、イエス・キリスト  
が現れるときに与えられる恵み  
を、ひたすら待ち望みなさい。

ペテロの手紙一 1:13

### 5月 Happy Birthday

## 巻 頭 言

藤生 強

### 塩谷キャンプ場

前々号の巻頭言にて原田ワイズが塩谷キャンプ場について語られていました。私もYMCAスタッフとして塩谷キャンプ場に関わって25年ほどになりますが、東日本大震災の影響によって使えなくなってきた8年はとても残念な気持ちでいっぱいです。

福島原発から漏れた放射線物質が風に運ばれ、ちょうど塩谷キャンプ場の位置する地域に大量に落ちたということで、周辺と比べても高い数値が表示されました。子ども達の野外活動を主に行っていたこともあり、すぐに使用を中止しました。その後、放射線測定器を使ってキャンプ場内を測ってみると、確かに宇都宮市内より高いことが分かりました。

活動には使用していませんでしたが、キャンプ場に置いてあるプログラム備品を取りに行ったり、早期再開を願って草刈りワークをボランティアリーダーたちと行ったり、震災後数年はキャンプ場に立ち入っていました。しかしながらそれもだんだん無くなり、いつの間にかキャンプ場は篠や草で覆い尽くされてしまいました。

原田ワイズの巻頭言にもあったように、とちぎYMCA創立40年記念式にて原田ワイズがキャンプ場の再開を呼びかけました。それに刺激を受けて若手のスタッフとボランティアリーダー達がこの春よりワークを再開しました。ワークに入ったリーダーは塩谷キャンプ場でキャンプを行った経験はなく、スタッフでさえも数えるほどしか入ったことは無いとの事でした。彼らは「思い出に浸る」ためではなく、「新たな体験・経験を得る」ためにワークを行いました。塩谷キャンプ場に「未来」を見ている若いスタッフやリーダー達が積極的にワークに入ったことによって、YMCAの願いが新たな世代に受け継がれていくことを実感しました。

## 4月(植樹)例会

書記 藤生 強

日時：2019年4月27日午前10時～午後1時



場所：那須街道赤松美林  
参加者：河野、田村、藤生、村田の各メン。田村メネット。YMCAメンバー3名。ゲスト5名。ガールスカウト15名。塩那森林管理署5名。合計33名

4月例会は、恒例の那須街道赤松美林への「赤松苗木の植樹」を行いました。前日まで雨天（前夜は大雨！）でしたが、神様に願いが通じたのか、当日は太陽が眩しいくらいの晴天となりました。森林管理署所長さんのあいさつの中で「苗木にとって雨はうれしいこと」との話に、思わず頷きました。

森林管理署の方々の準備と指導のもと、ガールスカウトメンバー及び引率者15名程、昨年も参加された福島よりのゲスト2名、その他ゲスト3名、那須YMCA中高生活動メンバー3名、そしてワイズメンバーの、総勢33名で、植樹が始まりました。

風が少し強く、気温も低めではありましたが、赤松



林の松の枝の間から降り注ぐ太陽の陽が心地よい中での作業となりました。事前に森林管理署の方が立てた竹の棒の箇所穴を掘って苗木を植えました。雨によって柔らかくなった土は穴を掘るにはちょうど良く、約100本の苗木を植える作業は順調に進みました。そのあとに隣の敷地に苗木を植えるために整地を行いました。熊手を使って落ち葉を払い、植える箇所を整地しました。森林管理署の方が等間隔に竹の棒を挿し、そこに先ほどと同じ様に約100本の苗木を植える作業を行いました。

整地をする中で、小さな松の苗をいくつか見つけました。松ぼっくりから地面に落ちた松の種が自然に発芽したそうです。落ちた種の多くは落ち葉で陽が遮られ、その多くは芽が出ないとのことで、森林管理署の方も喜んでいました。

お昼には作業も終了し、那須野ヶ原開拓の歴史探訪として「藤田農場」（那須塩原市埼玉）へ行きました。明治時代に行われた那須野ヶ原開拓の際に開拓された農場の一つとの事で、少しだけ歴史を感じて、農場の庭にて昼食を取り、解散となりました。

## 5月第2例会（役員会）報告

日時：5月8日（水）午後12時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山YMCAスタッフ、田村メネット

協議事項

1. 4月(植樹)例会の反省

天候に恵まれて、30名を超える方々の参加をいた



だき開催することができた。例年参加をしていたいた方々の高齢化に伴い参加少なくなった代わりにガールスカウトの方々の参加がありスムーズに進めることができた。YMCA会員の参加が得られるようにするとともに良いとの意見があった。

## 2. 5月例会の件

5月31日（金）の午後1時30分に塩谷キャンプ場に集合し、散策と今後のキャンプ場の活用について話し合う。また、記念植樹を行う。植樹の木は、梅、柿とクルミの木各2本とする。木の購入は、田村副会長に一任。費用は10,000円。支柱と堆肥の準備は村田副会長。工具の準備は平山主事。12時30分に原田ワイズ宅に集合または、各自が塩谷キャンプ場に行くことにする。昼食は各自済ませて。

## 3. 6月例会の件

塩沢総主事を囲んで那須YMCAの活動の今後について話し合う。6月21日（金）午後1時30分から、西那須野教会にて行う。茶菓の準備を行う。

## 4. 5月ブリテン発行について

5. 6月第2例会（役員会）について、6月7日（金）午後12時30分からココスで食事をとりながら行う。

## 6. その他（今後の予定）

- ・第3回北東部評議会の報告が村田よりあった。
- ・宇都宮ワイズ40周年 5月18日（土）午後2時45分から宇都宮美術館。各自車にて参加。お祝いをクラブとして10,000円する。
- ・第22回東日本区大会 6月1日（土）から2日（土）（国立オリンピック記念青少年総合センター。村田副会長が出席予定。
- ・第28回アジア太平洋地域大会 7月19日（金）～21日（日）（仙台国際センター）河野会長と村田副会長が参加予定。21日（日）の午後、仙台国際センターにおいて北東部会が行われる。
- ・5月3日から5日までのリーダートレーニングに那須YMCAのリーダーが参加。赤城キャンプ場。
- ・とちぎYMCAチャリティーランが6月23日（日）にロマンチック村にて開催される。
- ・シタケ昆布の購入を連休後に80個行う。5月末に再度購入する。

## 第3回北東部評議会報告

副会長 村田 榮

去る4月20日（土）午後1時から、仙台YMCAにおいて第3回北東部評議会が開催された。那須

ワイズを代表して参加しました。出席者は16名とすこし少なかったです。協議した内容は、資料に基づき、第2回評議会の記録の確認、部長報告、主査報告、各クラブ活動報告、会計報告、2019年～2020年度部長活動方針、第28回アジア太平洋地区大会報告と続いた。那須クラブの報告は、資料に従って報告をした。協議事項は、2点。1点は、次年度の北東部部会を7月21日（日）午後12時30分より、仙台国際センター（第28回アジア太平洋地区大会閉会後の時間）で開催したいとの提案が次期鈴木部長よりあり、原案通り承認された。2点は、第28回アジア太平洋地区大会の前夜祭に参加される、国際議員35名とアジア太平洋地域議員15名の参加費の一部3,000円を北東部が負担したい旨の説明は鈴木次期部長より説明があり、協議の結果今期の北東会計より150,000円支出することが承認された。小生は、親の介護の関係で少し早く失礼をしました。

## 今後の予定

### ・5月第2（役員会）例会

日時：5月8日（水）午後12時30分から  
場所：西那須野ココス乃木店

### ・宇都宮ワイズ40周年記念式

日時：5月18日（土）午後2時45分～  
場所：宇都宮美術館

### ・5月第1（塩谷キャンプ場視察）例会

日時：5月31日（金）午後1時30分集合  
場所：塩谷キャンプ場

### ・第22回東日本区大会

日時：6月1日（土）から2日（日）  
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

### ・6月第2（役員会）例会

日時：6月7日（金）午後12時30分から  
場所：西那須野ココス乃木店

### ・6月第1（YMCA報告会）例会

日時：6月21日（金）午後1時30分から  
場所：日本キリスト教団 西那須野教会  
内容：塩沢総主事を囲んで那須YMCAについて話し合う。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第73回）

田村修也

長年の待望の大水路開鑿は、このようにしていよいよ実現することになりました。これは、後には那須疏水と呼ばれて、日本の三大疏水の1つに数えられて、那須野ヶ原の生命線と言われるまでになったのです。この工事の規模及び人事等の概要は以下の通りです。

1. 取入口：那須郡岩崎村に設け、那珂川の水を引入れる。水量は全水量250箇のうち、利用し得る見込水量は200箇（注1箇は一尺立方、素掘りのため、地下浸透を2割想定している）。

2. 水路延長：取入口から那須開墾社地内通称観象台付近に至る約4里半。その外、数条の支線」を設ける。但し支線は受益者において施工する（注観象台は、三角測量の基線としてセンチサレタモノデ、1876ネンメイジ9ネンに、英国人マクウエンの指導のもとに、水準測量が実施され、明治11年4月から2ヶ月間で基線測量が2回行われました。その結果10628.310589mを測定。基線尺は米国製ルガード式基線尺が使用されています。千本松農場・旧松方農場の前の塩原街道の向かい側の農業・食品産業技術総合研究機構国立研究開発法人畜産草地研究所の入口門柱の左前に北点があります。すぐそばに那須塩原インターがあり、南点まで約10.6kmの直線道路に沿って、南から一区、二区、三区、四区、千本松と那須開墾社の開拓のメイン道路となっています。機会があれば、この沿革も連載したいと思っています）。

3：特殊工事：以下の部分は暗渠とする。

西岩崎村取入口から75間

亀山村地内約500間

熊川河底約30間

蛇尾川河底約120間

工事担当者

総監督：内務省土木局疏水課長 南一郎平

現場主任：内務省土木局疏水係 渋谷吉蔵

現場監督：内務省土木局疏水係 羽根田某

内務省御用係 田代荒次郎

那須開墾社社長 印南文作

那須開墾社幹事 矢板 武

那須開墾社水路委員 森 与平

那須開墾社社員 斉藤半次郎

肇耕社管理者 田上貞質

東肇耕社管理者 堀 三義

毛利開墾管理者 倉光三郎

その他各開墾場

工事労務者のうち、石工その他特に技術を要するものは、南一郎平の広瀬用水（南一郎平は故郷豊前の国・今の大分県の宇佐神社付近の金屋村で親子2代かけて広瀬井手を開鑿した。井手とは九州地方の方言で用水堀のこと）、安積疏水（福島県郡山市に

ある52mの幹線と78kmの分水路を持つ疏水。1879年から2年8ヶ月を費やして猪苗代湖の水を引いて安積原野4000町歩を開田。那須疏水の前に完成。日本三大疏水の1つ)の工事に使用した、熟練工を使用し、また一般労務者には、宇都宮監獄の囚人を多数借り受けて使用しました。

那須開墾社の水路委員である森与平は、嘉永6年、1853年、現在の矢板市大字土屋に生まれ、現在の大田原市親園大字実取の森家の養子になりました。地方の有力な人材でしたので、明治初年以来、各種の地方公職に挙げられ、実取村戸長、後には、親園村村長をつとめました。那須開墾社設立と同時に入社し、株主となり社員となって会計を担当しました。飲料水路工事が始まりますと水路委員として、印南文作さん、矢板武さんを助けて、測量工事に力を尽くしました。大水路開鑿には、那須開墾社水路委員として、現場にあって、内務省土木局関係の人々との連絡調整を取って、工事の円滑な進捗に勤めた陰の功労者として重要な、忘れてはならない方であります。（以下次号へ続く）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

那須YMCAとの「サタデークラブ」のプログラムが始まって、今年で18年目を迎えました。このプログラムは、学校5日制の開始に伴う地域の子どもの受け皿として3歳から小学生までの異年齢の子どもたちをただ単にお預かりするだけではありません。野外遊びや活動、製作、調理等の活動を通して、それぞれの子ども自身、子ども同士に生まれる何かに期待するものです。主催は幼稚園、プログラムと運営責任を那須YMCA平山主事、当日支援をボランティアリーダー、幼稚園スタッフがしています。

初回の松本法判主事が行ったプログラムの一つが「だるまさんが転んだ」という遊びでした。小学5、6年生が驚くほど喜んでやっている後ろを見ますと、3歳のこどもたちが走り、歩き回っていました。私の子ども時代と異なる風景に唖然としました。私が子どもの頃は、年上の子が小さい子どもの面倒を見て、手を引かれた小さい子どもは動いても良いという特別ルールがあり、全員参加型の遊びでしたが、その伝承が途切れていたので。そこで、次回からは異年齢の小グループを作り、そこで遊びを考えていくことにしました。子どもを通してそれぞれの学校に遊びを普及していくことも目的の一つに加わりました。

さて、マイケル・A・オズボーンは、「今後10～

20年程度で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い」と言う研究報告をしています。子どもたちはこれからの正解のない時代を、その時その時の適解を求めて生きていくのです。そこでは、折れない心、自己統制力、価値観の異なる人と協力してやり遂げるなどの非認知スキルが求められます。

また、ヘックマンやダンカンは、「5歳までの環境、教育、経験が、幼児期だけでなくその後の人生に大きく関わる」という報告をしています。これらを鑑みると「サタデークラブ」は、新しい時代を迎える子どもたちにとって、「よく生きる力」の基礎になる非認知スキルを培う、大切な一つの機会です。

ところで、「サタデークラブ」は子どもたちだけではなく、リーダー達にも影響を与えています。ごく当たり前のことも知れませんが、ロバート・パットナムは、当事者研究を通して青少年期におけるアドバイザーの重要性を挙げています。主事やワイズメンズクラブの方々との有意義な出会いは、その後の人生に大きな影響を与えていると考えます。といますのも、今まで5人のリーダーが、土曜日にもプログラムをしているような西那須野幼稚園や児童発達支援センター・シャロームのスタッフになってくれたからです。これはとても凄いことです。

最後に、那須YMCA、那須ワイズメンズクラブの働きの上に、神の祝福を祈ります。

## 御園那須老人ホームだより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ  
聖園那須老人ホーム 施設長 赤坂 英昭

### 「御復活」

御復活おめでとうございます。

復活祭は、十字架にかけられて処刑されたイエス様が、三日後に復活したことを記念・記憶するキリスト教において最も重要な祭りです。聖園那須老人ホームでは、4月の20日にミサが行われ、続いて「春のお祭り」としてもお祝いの食事会が行われました。

復活祭（イースター）は、社会福祉法人イースターヴィレッジの由来でもあります。

イースターヴィレッジは、カトリック司祭フランシスコ・マイエル神父の提唱により、宗教法人フランシスコ病院修道女会の運営参加、国、県、市、共同募金会の補助金、西ドイツケルン教区、多くの一般篤志家・米軍座間キャンプ篤志家等の寄付金により、足利市に1975年（昭和50年）5月、「旧虚弱

児施設」（主として結核児童などの身体の虚弱な児童の健康増進を図ることを目的として1950年（昭和25年）に制度化された）に建設・施設認可されました。1998年（平成9年）の児童福祉法の改正により、旧虚弱児施設は結核患者の減少や医療技術の向上等により、その使命を終えたとして廃止され、平成10年4月より現在の児童養護施設になり今日に至っています。

そして2008年（平成20年）社会福祉法人聖心の布教姉妹会のもとで運営されていた当老人ホームの運営が引き継がれ、2009年（平成21年）には栃木市に自立援助ホームマルコの家を開設し現在に至っています。

イースターヴィレッジはもう一つフィリピンのミンダナオ島にあります。正式名はEaster Village Children's Home（イースタービレッジ・チルドレンズ・ホーム）で、日本の札幌教区から宣教司祭として行った祐川郁生神父が創設した施設です。運営は異なりますが同じ児童養護施設で、足利のイースターヴィレッジから職員や子どもたちが何度か訪れ交流を図っています。イースタービレッジミンダナオのホームページを開いていただくとイースターヴィレッジソングを日本語（オリジナル）と英語で聞くことができますので是非一度ホームページを訪れてみてください。

最後になりましたが、イースターは新しい生活の象徴です。新しい年「令和」と共に愛と幸せに満ちた新しい生活が送れますように心よりお祈りいたします。（注：フィリピンのイースターヴィレッジは“ビレッジ”と表記されています。）

## YMCAだより

### 【新年度のご挨拶】

日ごろよりYMCAの諸活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。新年度（2019年度）がスタートしました。2019年度那須YMCAに関わるスタッフの紹介をさせていただきます。

藤生 強（ふじょう つよし）※那須YMCA全般、ワイズ担当主事、スマイリークラブ

平山 雄大（ひらやま たけひろ・のりしおリーダー）※地域活動、西那須野幼稚園委託事業（運動遊び・サタデークラブ）、児童野外活動、ユース活動、英会話教室など

小野寺 温代（おのでら あつよ・でらっちリーダー）※英会話教室

村上 尚子（むらかみ なおこ）英会話教室補助・

事務：

英会話講師：Elizabeth Doster（リズ）

英会話講師：Alex Warren（アレックス）

英会話講師：Henry Tsue（ヘンリー）

英会話講師：Shallon McClure（シャーロン）

今年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。 那須YMCA 担当スタッフ一同

### 【塩谷キャンプ場の整備を行いました！】



4/28（日）に塩谷キャンプ場でワークを行いました。この日参加したのはリーダー11名・

OG 1名・スタッフ3名の計15名で行いました。ワーク箇所は入り口付近・メイン芝生広場・野外炊飯場・トイレ前・川辺への道などを整備していきました。ワークを行ったことで見えなかった場所が見えてきたり、釜戸が使えるようになるなど少しずつですが塩谷キャンプ場が綺麗になってきました。

### 【とちぎYMCA・那須YMCA 5月の予定】

・5/3（金）～5/5（日） 赤城プレキャンプ（北関東YMCA主催）リーダー参加

・5/10（金） YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン

・5/11（土） サタデークラブ@長峰公園

・5/12（日） Yキッズ@とちぎわんぱく公園

・5/13（月） YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン

・5/14（火） とちぎYMCA説明会&キックオフ@宇都宮YMCA

・5/17（金） チャリティゴルフ大会@JGM 宇都宮ゴルフクラブ

・5/18（土） サタデークラブ@長峰公園

・5/25（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クラフト）

## ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言



①じえら

②国際医療福祉大学  
保険医療学部  
作業料法学科

③栃木県大田原市

④子供と関わることができる  
ボランティア活動をしたかった

たから。ボランティアセンターに行った時にYMCAの先輩がいて、活動内容を詳しく教えて下さり興味を持ったから。

⑤Yキッズ（わんぱく公園）…那須YMCAの先輩と二人でグループのリーダーを務め、様々なことを吸収できたから。子供たちにとってどうすることがよいか考えながら活動できました。

⑥四年間しっかり勉強して患者さんの立場になって考え、寄り添うことのできる作業料法士になります！

⑦YMCAはメンバーだけでなく、リーダーも日々学び、成長できる団体？だなあとと思います。那須の（先輩）リーダーはもちろん、赤城で知り合った（先輩）リーダーも明るく楽しく、そしてメンバーのためによく考えている素敵な人たちばかりです。こんな人たちに囲まれて活動できることが嬉しいです！私も楽しみながら、ひとつひとつの活動を良いものにできるよう頑張っていきます！よろしくお願い致します。